

さっぽろ環境インタープリター養成プログラム

第2回 実践研修「見る・知る・感じる」報告

事業名	さっぽろ環境インタープリター養成プログラム（第2回、第3回連続講座） 第2回 実践研修「見る・知る・感じる」
講師	三上 真広氏（ワークショップ・コーディネーター）
実施日時	平成27年7月31日（金）、8月1日（土）、8月2日（日） 13:00～15:00
実施場所	アクセス札幌（展示会場、会議室A）
参加人員	7/31（金）7名、8/1（土）6名、8/2（日）8名 3日間合計21名
目的	インタープリター活躍場の一つでもある「環境広場さっぽろ」というイベントを題材に、自らイベントを体験して感じ、より面白くするためのアイデアを考え提案を作成するというワークショップに参加することでインタープリターとしての学びを得る。
ゴール	① イベントを自分たちの目で見て、感じて、評価できるようになっている（第2回） ② イベントをもっと魅力的にするためのアイデアを出すコツをつかめている（第3回） ② 間と協力しあい、考え、創り出し、伝えるためのノウハウを学ぶ中で、インタープリターとして、何か1つでも次の行動につながる気づきを得ている（2回合計）
アウトプット （実施結果としての成果物）	1) 第2回：環境広場さっぽろに関する、各人の気づき（良いところ、課題、問題点など）が貼られた模造紙（各グループ 1枚＝合計6枚） 2) 第3回： ① 環境広場さっぽろのイベントをより面白くするためのアイデア提案書（模造紙）（各グループ 1枚＝合計5枚） ③ 来年の環境広場さっぽろで、自分がインタープリターとしてどんな姿で活躍しているか、また、どんな状態でありたいかの抱負が書かれた名前入りA4用紙（各人 1枚＝最大25枚 →本用紙は回収し、コピーをとり、次回返却）
アウトカム	① 具体的な活躍の場であるイベントの実態把握と、課題に触れ、より魅力アップするためのアイデア出しを、今後活動を共にする仲間と一緒に考えることで、自然に一体感と自分ごとへの意識が芽生えている。 ② 次年度環境広場さっぽろでインタープリターとして参加したいという意欲が芽生えている
実施の様子	* 参加者2グループに分かれて着席。 1. 主催者挨拶：NPO 法人ひまわりの種の会新保 環境広場さっぽろでは最新の技術、情報が出展されている。実践講座を通じて学びと気づ

きを得ていただきたい。連日湿度が高くて暑い日が続いているので、くれぐれも水分を取り、熱中症にならないよう気を付けてください。

2.三上講師より、講座の流れを説明頂く。

講座の目的、目指すゴール、ワークショップという講習形式にする目的、本日の流れなどについて説明。

3.「自己紹介シート」に住んでいるところや最近嬉しかったことなどを記載し、和やかな雰囲気となる。

4.各グループ内でジャンケンをし、ペアをつくる。

5.札幌市環境局佐竹氏より、「環境広場さっぽろ」イベントの現状と課題についてお話しいただく。



* イベント会場を視察 (30分)

6.ペアで「環境広場さっぽろ」イベント会場内へ移動。

クリップボードとポストイットを持参し、各自気づいたことをポストイットに記述。

7.会場から会議室へ戻り休憩

* 気づきを書かれたポストイットについてプレスト

8.テーブルに用意した模造紙に気づきを記述したポストイットを貼り付ける。

9.貼り出したポストイットをグループ内でプレストしながらカテゴライズ。

10.グループではどのようなことに気づきがあったか、他のグループの様子を知るために各グループで代表者を決めて発表を行う。

* 三上講師からコメントいただく

11.イベントのチェックポイントについて解説 (資料あり)

12.インタープリテーションの定義などについて解説 (資料あり)

13.グループワークを終了し、今日の講座でどのような気づきがあったか、各自振り返りし発表をした。

